



# 安定して商品を供給できるようにしています

シマダヤグループでは、常に安定して商品をお客様へお届けできるよう、事業継続計画(BCP)<sup>※</sup>の構築を進めています。災害などが発生した際、対応できるように努めています。

## 事業継続計画(BCP)対策について

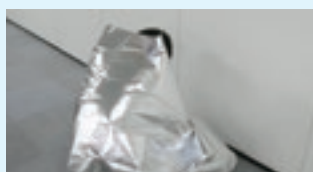
シマダヤでは大規模災害発生時の「従業員およびその家族の人命安全を第一とする対策を講じる」という基本方針のもと、既に導入している安否確認システムの運用テストを定期的実施しております。テストでは、本人の安否登録はもちろん、管理者による部下の安否情報確認と掲示板機能を利用した家族の安否確認も併せて行い、いざという時に迅速に確認が取れることを目指しています。

また、帰宅困難者などの事業所待機者への対策で備蓄品として既に購入している水や食料に加えて、毛布、保温アルミシート、マット、懐中電灯、ランタン、折り畳み担架、ヘルメットなどを追加購入し、全事業所に備え置きしております。

上記は東京都の帰宅困難者対策条例に対応しております。



難燃性毛布



体温の低下を防ぐために被って使用する「保温アルミシート」



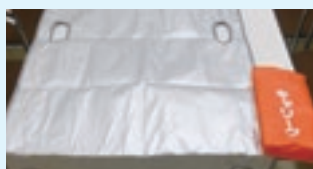
事務所のフロアで横になる際に使用する「アルミマット」



ラジオ付き手回し充電懐中電灯  
(携帯充電コネクタ付き)



LEDソーラー・手回し充電ランタン



救助用折り畳み担架



畳めるヘルメット

## コンピュータシステムのBCP対策

シマダヤグループの災害発生時の最も重要な社会的責任は、食品企業としての供給体制を維持することです。この責任を遂行する上で欠かせないことの一つが情報システムの機能です。シマダヤでは2012年8月に、震災などが発生しても情報システム機能を維持し、短時間で業務再開を可能にするためのBCP対策として、ホストコンピュータ(以下、HCP)をデータセンターへ移設しました。2013年1月にはHCPに障害が発生し、受信トラブルにより多くのお客様へ

ご迷惑をおかけしました。この事実を踏まえ2013年秋の完成を目的に、HCPを2台体制とする「システムの完全二重化」を進めております。二重化することで、2台間のリアルタイム同期によりソフト・ハード両面からシステムの安定稼働が可能になります。

また、システムを運用する「人」に対しては、さまざまな状況を想定したシステム障害対策訓練を実施し、緊急時に速やかに対応できるよう常日頃から備えています。

※事業継続計画(BCP)とは…

新型インフルエンザや大規模地震などの緊急事態が発生し、企業が重大な被害を受けた際にも、特定された重要な業務を中断せず、仮に中断したとしても目標復旧時間内に復旧させるための計画。